

# The 48th Regular Concert

Fukuoka University Symphony Orchestra

## 福岡大学交響楽団 第48回定期演奏会



TERAOKA KİYOTAKA  
寺岡 清高



フンパーディング  
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲

ワーグナー  
楽劇「トリスタンとイゾルデ」前奏曲と愛の死

ブルックナー  
交響曲第6番イ長調

2019年12月7日(土)

開場: 14:00 開演: 15:00

場所: 福岡シンフォニーホール(アクロス福岡)

入場料: 1,000円(全席自由/6歳未満無料)

※当日券をご用意しております。



■主催/福岡大学学生会学術文化部会交響楽団 ■協力/公益財団法人アクロス福岡

■後援/福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団・一般社団法人福岡大学同窓会有信会・福岡大学学術文化部会・福岡大学交響楽団OB会

チケットは、イズタ・バイオリン、クレモナ楽器、ムジカテラシマ、アクロス福岡チケットセンター等にて販売中。

※お問い合わせ: E-mail: fukudai\_symphony@yahoo.co.jp Tel: 080-6407-9669(大和) HP: <https://www.cis.fukuoka-u.ac.jp/~kai00049/>

プロフィール  
PROFILE

指揮者 *Conductor*

寺岡清高

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとしてロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等と同行し研鑽を積む。これまでに指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治、カルロ・マリア・ジュリーニ、ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィの各氏に師事。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。以降、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、イギリス室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団等を指揮している。2004年1月大阪交響楽団正指揮者に就任。2011年4月以降は常任指揮として、2019年3月まで足かけ15年間、ウィーン世紀末のロマン派音楽を積極的にとりあげ続け、とりわけ2013年6月の第176回定期演奏会における「オール ハンス・ロット プログラム」は大きな反響を呼び、同年の大阪文化祭賞を受賞した。ウィーン在住。



福岡大学交響楽団

*Fukuoka University Symphony Orchestra*

福岡大学交響楽団は、学生約2万人を擁する福岡大学の様々な学部生から構成された学生オーケストラである。団員数約70名で5月のプロムナードコンサート、12月の定期演奏会の年2回の演奏会を目標に日々練習している。

また、福岡学生シンフォニーオーケストラにも所属し7月の演奏会にも参加している。学内では、音楽の夕べ、七隈祭Art Stage、小学校での依頼演奏など様々な行事があり盛んに活動している。

我が部は昭和44年7月に愛好会として発足し、昭和46年12月に第1回定期演奏会を開催する。昭和60年に同好会に昇格し、平成2年に旧名誉指揮者である橋本久喜氏に指揮を依頼し、平成3年には部昇格を達成する。本年は寺岡清高先生を指揮者に迎え、第48回定期演奏会を開催する。

